



2022年3月24日

株式会社日立製作所

執行役社長兼COO 小島 啓二

(コード番号：6501)

(上場取引所：東・名)

放射線測定装置事業の会社分割に係る吸収分割契約締結および 開示内容の変更に関するお知らせ

株式会社日立製作所(以下、日立)は、2021年10月13日付のニュースリリースにより、放射線測定装置事業および産業用X線CT装置事業を、吸収分割により、承継準備会社に承継させた後、その株式の全てを、日本みらいキャピタル株式会社(以下、日本みらいキャピタル)が投資に関するサポート業務を提供するNMC四号投資事業有限責任組合が全額を出資する特別目的会社であるエクスホールディングス株式会社に譲渡すること(以下、本株式譲渡)を発表しました。

本件発表後、クロージングに向け最適な事業体制を双方でさらに検討した結果、日立は、本日、会社分割および本株式譲渡の事業を、放射線測定装置事業のみとする株式譲渡契約の変更契約および会社分割(以下、本会社分割)に係る吸収分割契約(以下、本吸収分割契約)を締結しました。

2021年10月13日付および2022年2月28日付のニュースリリースで未定としていた事項および開示内容の変更について下記のとおりお知らせします。未定としていた事項については当該事項に、記載の一部を変更した事項については当該変更箇所に、それぞれ下線を付しています。

1. 本会社分割の要旨

(1)本会社分割の日程

| | |
|-------------------|---------------|
| 株式譲渡契約締結日 | 2021年10月13日 |
| 株式譲渡契約変更契約締結日 | 2022年3月24日 |
| 吸収分割契約締結日 | 2022年3月24日 |
| 吸収分割効力発生日および株式譲渡日 | 2022年6月1日(予定) |

※競争法その他の法令等に基づき必要なクリアランス・許認可等の取得が完了することを前提としております。また、本会社分割は、日立においては会社法第784条第2項に定める簡易吸収分割に該当するため、日立の株主総会による吸収分割契約の承認を得ずに行います。

(2)本会社分割の方式

日立を分割会社とし、日本レイテック株式会社(以下、日本レイテック)を承継会社とする吸収分割です。

(3) 本会社分割に係る割当ての内容

日本レイテックは、本会社分割に際して、普通株式99株を発行し、その全てを日立に対して交付します。

(4) 本会社分割に伴う新株予約権および新株予約権付社債に関する取扱い

日立が発行した新株予約権の取扱いについて、本会社分割による変更はありません。

日立は、新株予約権付社債を発行していません。

(5) 本会社分割により増減する資本金

本会社分割による日立の資本金の増減はありません。

(6) 本会社分割により承継会社が承継する権利義務

日本レイテックは、本吸収分割契約に定める日立の資産、知的財産権など、債権債務および契約上の地位、労働契約その他一切の権利義務を承継します。

(7) 債務履行の見込み

本会社分割の効力発生日以後に弁済期が到来する日本レイテックの債務について、履行の見込みはあるものと判断しています。

2. 本会社分割の当事会社の概要

| | 分割会社 | 承継会社 | | | | | | | | | | |
|---|--|-----------------------------|--------|--------------------|-------|--|-------|------------|-------|----------------------------|-------|------------------|
| (1)名称 | 株式会社日立製作所 | 日本レイテック株式会社 | | | | | | | | | | |
| (2)所在地 | 東京都千代田区丸の内一丁目6番6号 | 東京都武蔵野市中町1丁目20番8号 | | | | | | | | | | |
| (3)代表者の 役職・氏名 | 執行役社長兼COO 小島 啓二 | 代表取締役 生島 聡 | | | | | | | | | | |
| (4)事業内容 | IT、エネルギー、インダストリー、モビリティ、ライフ、オートモティブシステム、日立建機、日立金属、その他の9セグメントにわたる製品の開発・生産・販売およびサービスの提供 | 放射線測定装置の設計、製造、販売および保守サービス | | | | | | | | | | |
| (5)資本金 | 461,731百万円 (2021年12月末日現在) | 25百万円 | | | | | | | | | | |
| (6)設立年月日 | 1920年2月1日 | 2021年11月18日 | | | | | | | | | | |
| (7)発行済株式総数 | 968,234,877株(2021年12月末日現在) | 1株 | | | | | | | | | | |
| (8)決算期 | 3月31日 | 3月31日 | | | | | | | | | | |
| (9)大株主および 持株比率 | <table border="0"> <tr> <td>日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)</td> <td>15.15%</td> </tr> <tr> <td>株式会社日本カストディ銀行(信託口)</td> <td>5.92%</td> </tr> <tr> <td>ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223 (常任代理人 株式会社みずほ銀行)</td> <td>2.40%</td> </tr> <tr> <td>日本生命保険相互会社</td> <td>2.07%</td> </tr> <tr> <td>ナツクムコ (常任代理人 株式会社みずほ銀行)</td> <td>2.04%</td> </tr> </table> <p>(2021年9月末日現在)</p> | 日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口) | 15.15% | 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 5.92% | ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223 (常任代理人 株式会社みずほ銀行) | 2.40% | 日本生命保険相互会社 | 2.07% | ナツクムコ (常任代理人 株式会社みずほ銀行) | 2.04% | 株式会社日立製作所 100.0% |
| 日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口) | 15.15% | | | | | | | | | | | |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 5.92% | | | | | | | | | | | |
| ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223 (常任代理人 株式会社みずほ銀行) | 2.40% | | | | | | | | | | | |
| 日本生命保険相互会社 | 2.07% | | | | | | | | | | | |
| ナツクムコ (常任代理人 株式会社みずほ銀行) | 2.04% | | | | | | | | | | | |
| (10)直近事業年度(2021年3月期)の財政状態および経営成績(連結/IFRS)(単位：百万円。特記しているものを除く) | | | | | | | | | | | | |
| 親会社株主持分 | 3,525,502 | - | | | | | | | | | | |
| 総資産 | 11,852,853 | - | | | | | | | | | | |
| 1株当たり親会社 株主持分(円) | 3,646.46 | - | | | | | | | | | | |
| 売上収益 | 8,729,196 | - | | | | | | | | | | |
| 継続事業税引前 当期利益 | 844,443 | - | | | | | | | | | | |
| 親会社株主に帰 属する当期利益 | 501,613 | - | | | | | | | | | | |
| 基本1株当たり 親会社株主に 帰属する当期利 益(円) | 519.29 | - | | | | | | | | | | |

3. 分割する事業部門の概要

(1)分割する部門の事業内容

放射線測定装置(環境放射線監視システム、放射線管理総合システムなど)の設計、製造、販売および保守サービス

(2)分割する部門の経営成績

売上高 73 億円(2021年3月期実績)

(3)分割する資産、負債の項目および金額(2022年6月1日見込)

| 区分 | 内容 | 金額 (単位：百万円) |
|--------|------------|-------------|
| 分割する資産 | 売掛金、棚卸資産など | 4,450 |
| 分割する負債 | 買掛金、未払金など | 1,255 |
| 差引 | - | 3,195 |

4. 本会社分割後の承継会社の概要

| | |
|--------------|---------------------------|
| (1)名称 | 日本レイテック株式会社 |
| (2)所在地 | 東京都武蔵野市中町1丁目20番8号 |
| (3)代表者の役職・氏名 | 代表取締役 生島 聡 |
| (4)事業内容 | 放射線測定装置の設計、製造、販売および保守サービス |
| (5)資本金 | 100 百万円 |
| (6)決算期 | 3月31日 |

5. 今後の見通し

本会社分割および本株式譲渡による日立の連結業績に対する影響は軽微です。

(参考)当期連結業績予想(2022年2月2日公表分)および前期連結実績(単位：百万円)

| | 売上収益 | 調整後 営業利益* | 継続事業 税引前 当期利益 | 当期利益 | 親会社株主に 帰属する 当期利益 |
|------------------------|------------|--------------|---------------------|---------|------------------------|
| 当期連結業績予想 (2022年3月期) | 10,000,000 | 723,000 | 765,000 | 625,000 | 550,000 |
| 前期連結実績 (2021年3月期) | 8,729,196 | 495,180 | 844,443 | 518,510 | 501,613 |

*調整後営業利益は、売上収益から、売上原価ならびに販売費および一般管理費の額を減算して算出した指標です。

< 将来の見通しに関するリスク情報 >

本資料における当社の今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等の結果は見通しと大きく異なることがあります。

その要因のうち、主なものは以下の通りです。

- ・COVID-19の流行による社会的・経済的影響の悪化
- ・主要市場における経済状況及び需要の急激な変動
- ・為替相場変動
- ・資金調達環境
- ・株式相場変動
- ・原材料・部品の不足及び価格の変動
- ・長期請負契約等における見積り、コストの変動及び契約の解除
- ・価格競争の激化
- ・人材の確保
- ・新技術を用いた製品の開発、タイムリーな市場投入、低コスト生産を実現する当社及び子会社の能力
- ・製品等の需給の変動
- ・製品等の需給、為替相場及び原材料価格の変動並びに原材料・部品の不足に対応する当社及び子会社の能力
- ・信用供与を行った取引先の財政状態
- ・社会イノベーション事業強化に係る戦略
- ・企業買収、事業の合併及び戦略的提携の実施並びにこれらに関連する費用の発生
- ・事業再構築のための施策の実施
- ・主要市場・事業拠点(特に日本、アジア、米国及び欧州)における政治・社会状況及び貿易規制等各種規制
- ・持分法適用会社への投資に係る損失
- ・コスト構造改革施策の実施
- ・地震・津波等の自然災害、気候変動、感染症の流行及びテロ・紛争等による政治的・社会的混乱
- ・当社、子会社又は持分法適用会社に対する訴訟その他の法的手続
- ・製品やサービスに関する欠陥・瑕疵等
- ・情報システムへの依存及び機密情報の管理
- ・自社の知的財産の保護及び他社の知的財産の利用の確保
- ・退職給付に係る負債の算定における見積り

以 上

このニュースリリースにおける将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいています。このため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
